

健康栄養学科

井澤幸子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 抗酸化指標を基盤としたバランスのとれた機能性パン食開発への試み	共著	2017年8月	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団 平成28年度年報 第32巻	上野有紀, 井澤幸子	pp.448~451 頁
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 心と身体のリフレッシュ～食べ方と食事内容の評価と「咀嚼が必要な食事」について～	講義	2017年8月	平成29年度 教員免許状更新講座 C3	井澤幸子	
2. 地域在住高齢者の健康状態の把握と生活背景の検討	学会 発表	2017年9月	第64回日本栄養改善学会学術総会 徳島	植村瑠実, 井澤幸子	
3. 健康寿命の維持を目指して	講義	2017年9月	平成29年度「生活を楽しくするヒント満載教室」愛知県日進市	井澤幸子	

市原啓子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
Temporally and spatially regulated expression of the linker histone H1fx during mouse development.	共著	2017年8月	J Histochem Cytochem 65巻9号	市原啓子, 門松健治, 岸田 聡	pp.513-530
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
マウスの発生過程におけるリンカーヒストン H1FX タンパク質の発現	学会 発表	2016年9月	第89回日本生化学会, 仙台	市原啓子, 岸田 聡, 門松健治	
体温調節のしくみから熱中症対策を考える	模擬 授業 講師	2017年9月	愛知学院大学ミニオーブンキャンパス・名城公園キャンパス	市原啓子	

上野有紀

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. スパイス・ハーブの機能と最新応用技術(普及版) 6章 ショウガ科植物と機能 3.ウコンの機能	共著	2017年2月	シーエムシー出版	監修: 中谷延二 6章3執筆: 上野有紀, 大澤俊彦	pp.93-103
2. 栄養科学ファウンデーションシリーズ 5.食品学 第2版 3.食品の主成分 3.3脂質 3.7嗜好成分・有害成分	共著	2017年4月	朝倉書店	編著: 和泉秀彦, 三宅義明, 舘 和彦 3.3執筆: 上野有紀 3.7執筆: 上野有紀	3.3 pp.26-30 3.7 pp.48-58

3. カレント食べ物と健康 2 食品の成分と加工 第3章 植物性食品の成分と加工 1. 穀類 2. いも類 第5章 油脂、調味料、香辛料、嗜好飲料の成分とその加工 4. 香辛料	共著	2017年5月	建帛社	編著：青柳康夫、津田孝範 第3章1執筆： <u>上野有紀</u> 第3章2執筆： <u>上野有紀</u> 第5章4執筆： <u>上野有紀</u>	第3章1 pp.25-35 第3章2 pp.35-39 第5章4 pp.155-158
4. 食品学 I 食品の化学・物性と機能性 改訂第3版 2章 食品の主要成分 E. ビタミン	共著	2017年9月	南江堂	編集：中山 勉、和泉秀彦 2章E執筆： <u>上野有紀</u>	2章E pp.61-77

B (論文)

著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 抗酸化指標を基盤としたバランスのとれた機能性パン食メニュー開発への試み	共著	2017年8月	公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団,平成28年度年報第32巻	<u>上野有紀</u> , 井澤幸子	pp.448-451

D (学会発表等)

演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
1. カシスアントシアニンによる神経細胞における酸化ストレス保護作用	学会発表	2017年2月	日本酸化ストレス学会 東海支部第5回学術集会,名古屋	<u>上野有紀</u> , 三浦叶子, 夏目梨芽, 大澤俊彦	
2. ヒト神経芽細胞腫における黄杞 (<i>Engelhardtia chrysolpis</i>) 葉抽出物及びその成分の抗酸化作用	学会発表	2017年2月	日本酸化ストレス学会 東海支部第5回学術集会,名古屋	中原達雄, <u>上野有紀</u> , 大澤俊彦	
3.	学術集会事務局、座長	2017年2月	日本酸化ストレス学会 東海支部第5回学術集会,名古屋	<u>上野有紀</u>	
4. Preventive effects of blackcurrants to lifestyle related diseases	研究発表	2017年2月	9th International Workshop on Anthocyanins, Auckland, New Zealand	Osawa T, Ueno Y, Ishikawa H	
5. カシスアントシアニンによる神経細胞障害保護作用の検討	学会発表	2017年3月	日本農芸化学会2017年度大会,京都	<u>上野有紀</u> , 三浦叶子, 夏目梨芽, 大澤俊彦	

宇野智子

A (著書)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
【著書】テキスト健康科学(改訂第2版)：第3章健康の基礎、B栄養と健康、2栄養・健康に関する社会問題	単	2017年2月	南江堂		pp.86-94

B (論文)

著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
牛乳の食後血糖上昇抑制効果：米飯と牛乳の飲む順序の検討	共	2016年11月	日本病態栄養学会誌19(3)	末田香里, 酒井映子, <u>宇野智子</u> , 佐藤祐造	pp.369-376

D (学会発表等)

演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
漢方入門講座③「糖尿病・肥満の漢方治療」	講演	2017年6月	第68回日本東洋医学会,名古屋	宇野智子	
安全管理者研修「健康起因事故防止対策」	講演	2016年8月	一般社団法人愛知県トラック協会	宇野智子	

安全管理者研修「健康起因事故防止対策」	講演	2016年12月	一般社団法人愛知県トラック協会	宇野智子	
安全管理者研修「健康起因事故防止対策」	講演	2017年3月	一般社団法人愛知県トラック協会	宇野智子	
安全管理者研修「健康起因事故防止対策」	講演	2017年9月	一般社団法人愛知県トラック協会	宇野智子	

呉煜秋

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Bioactive dietary compounds regulate mitochondrial apoptosis signaling in ambivalent way to function as neuroprotective or anti-tumor agents.	共著	2016年12月	Elsevier Science Publishers, Studies in Natural Products Chemistry (Vol.51)	Naoi M, Wu Y, Shamoto-Nagai M, Maruyama W	pp.201 - 222
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Kopsiyunnanines L and M, Strychnos-related monoterpenoid indole alkaloids from Yunnan <i>Kopsia arborea</i> .	共著	2016年10月	Tetrahedron 72 (42)	Kitajima M, Nakazawa M, Wu Y, Kogure N, Zhang R, Takayama H	pp.6692 - 6696
2. Phytochemicals prevent mitochondrial membrane permeabilization in apoptosis induced by PK11195: A novel cellular mechanism underlying the neuroprotective anti-aging function of bioactive dietary compounds.	共著	2017年1月	J Neural Transm 124 (1)	Wu Y, Shamoto-Nagai M, Maruyama W, Osawa T, Naoi M	pp.89 - 98
3. Asymmetric Total Synthesis of Pentacyclic Indole Alkaloid Andranginine and Absolute Configuration of Natural Product Isolated from <i>Kopsia arborea</i> .	共著	2017年8月	Organic Letters 19 (10)	Tooriyama S, Mimori Y, Wu Y, Kogure N, Kitajima M, Takayama H	pp.2722 - 2725
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. キョウチクトウ科 <i>Kopsia arborea</i> 含有新規インドールアルカロイド Kopsiyunnanines K, L, M の構造と Andranginine の絶対立体配置	学会発表	2017年9月	第59回 天然有機化合物討論会, 札幌	小暮紀行, 徳田涼子, 通山紫乃, 中澤麻衣子, 小山徹也, 岡本佳樹, 三森雄二, Wu Y, Zhang R, 北島満里子, 高山廣光	

大澤俊彦

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Rasagiline prevents cyclosporine A-sensitive superoxide flashes induced by PK11195, the initial signal of mitochondrial membrane permeabilization and apoptosis.	共著	2016年	J. Neural. Transm. 123巻	Wu Y, Shamoto - Nagai M, Maruyama W, Osawa T, Naoi M.	pp.491 - 494
2. 機能的食品研究の現状と今後の動向	単著	2016年	New Food Industry, 58巻 12号		pp. 1 - 12

3. Phytochemicals prevent mitochondrial membrane permeabilization in apoptosis induced by PK11195: A novel cellular mechanism underlying the neuroprotective anti-aging function of bioactive dietary compounds.	共著	2017年	J. Neural. Transm. 124巻	Wu Y, Shamoto – Nagai M, Maruyama W, <u>Osawa T</u> , Naoi M.	pp.89 – 98
4. スプラウトは現代人の味方 強い解毒力・抗がん作用	単著	2017年	食べもの通信		pp.17 – 21
5. スプラウト生鮮野菜(もやし)の機能性表示食品への研究開発	単著	2017年	アグリバイオ 1 巻 4 号		pp.24 – 29
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
機能性食品の現状と将来展望	共著	2017年7月	薬事日報	大澤俊彦, 池田貴子, 水野篤典	pp.18 – 23
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 老化を食から科学する	招待 講演	2016年10月	第9回智の木協会シン ポジウム, 大阪市	大澤俊彦	
2. レスベラトロールの化学と機能	招待 講演	2016年11月	第一回レスベラトロール 研究会, 東京	大澤俊彦	
3. Effects of dark chocolate 72% cacao intake in healthy Japanese	学会 発表	2016年11月	3rd International Conference on Pharma and Food, Shizuoka, Japan	T. Osawa	
4. 抗酸化食品と健康寿命	招待 講演	2016年11月	瀬戸市健康づくり食生 活改善協会設立20周年 記念講演, 瀬戸	大澤俊彦	
5. 健康長寿における抗酸化食品の有用性	招待 講演	2016年11月	健康食品管理士甲斐関 東支部研修会, 埼玉	大澤俊彦	
6. 生体内抗酸化に向けて – AOU 研究会としての方向性 –	理事 長講演	2016年11月	第10回日本 AOU 研究 会, 東京	大澤俊彦	
7. 抗酸化食品による疾病と老化予防について	講演 会	2016年12月	名古屋健康カレッジ, 名古屋	大澤俊彦	
8. ケストースの抗老化作用 – 解毒代謝酵素の活性化 –	学会 発表	2016年12月	第1回ケストース研究 会, 碧南	大澤俊彦, 上野有紀	
9. 健康長寿と「攻めの栄養学」 – バランスの取れた食生活への提案 –	招待 講演	2017年2月	平成28年度愛知県市町 村保健行政栄養士連絡 協議会研修会, 幸田	大澤俊彦	
10. カシスアントシアニンによる神経細胞における酸化ストレス保護作用	学会 発表	2017年2月	酸化ストレス学会東海支 部第5回学術集会, 名 古屋	上野有紀, 三浦叶子, 夏目梨芽, 大澤俊彦	
11. 脂質過酸化由来の翻訳後修飾タンパク質の解析	学会 発表	2017年2月	酸化ストレス学会東海支 部第5回学術集会, 名 古屋	日坂眞輔, 山川春香, 青山愼, 近藤 芳皓, 澤野垂矢, 鶴見沙樹, 赤津裕康, 永井(社本)雅代, 加藤陽二, 丸山和佳子, 大澤俊彦, 能勢充彦	
12. ヒト神経芽細胞腫における黄杞 (<i>Engelhardtia chrysolepis</i>) 葉抽出物及びその成分の抗酸化作用	学会 発表	2017年2月	酸化ストレス学会東海支 部第5回学術集会, 名 古屋	中原達雄, 上野有紀, 大澤俊彦	
13. 生体内代謝を考えた大豆イソフラボノイドの脂肪細胞への影響	学会 発表	2017年2月	酸化ストレス学会東海支 部第5回学術集会, 名 古屋	玉垣 唯, 松本悠依, 丹羽利夫, 大澤俊彦	

14. 自然免疫応答を用いた新規食品機能性評価法による柑橘類等フラボノイドの機能性	学会発表	2017年2月	酸化ストレス学会東海支部第5回学術集会,名古屋	望月美佳, 山田洋美, 數村公子, 土屋広司, 森下直計, 坂本祥子, 大澤俊彦	
15. AOU研究会の活動	学会発表	2017年2月	酸化ストレス学会東海支部第5回学術集会,名古屋	津志田藤二郎, 大久保勉, 中川 亮, 大澤俊彦	
16. 発酵食品の持つ新しい機能の魅力	特別講演	2017年2月	神戸薬科大学エクステンションセンター 第17回健康食品講座, 神戸	大澤俊彦	
17. Preventive effects of blackcurrants to life-style related diseases	学会発表 (基調講演)	2017年2月	International Workshop on Anthocyanins, Auckland, New Zealand	T. Osawa	
18. Effect of blackcurrant intake in elderly Japanese	学会発表	2017年2月	International Workshop on Anthocyanins, Auckland, New Zealand	H. Ishikawa, K. Hagiwara, M. Nagai, Y. Takimoto, T. Osawa	
19. 健康長寿における抗酸化フードファクターの役割	基調講演	2017年3月	文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム和歌山県特産農産物を活用した健康産業イノベーション推進地域, 和歌山	大澤俊彦	
20. 光センシングによる簡便な生体内抗酸化評価システムの開発	学会発表	2017年3月	日本農芸化学会2017年度大会, 京都	數村公子, 土屋広司, 竹内康造, 美和登志幸, 服部将貴, 森下直計, 大澤俊彦	
21. 酸化ストレス制御-加齢性疾患や老化過程の制御を目指して-	招待講演	2017年6月	奥伊勢バイオサイエンスセンター第4回総会記念講演会, 津	大澤俊彦	
22. Health benefits of chocolate	招待講演	2017年6月	The Co-development Day (チョコレート油脂などに関する国際セミナー), 東京	大澤俊彦	
23. ヒト臨床試験で期待されるバイオマーカーの開発	セミナー講演	2017年7月	ウエルネスフードジャパンセミナー	大澤俊彦	
24. カカオの健康効果	セミナー講演	2017年7月	ウエルネスフードジャパンセミナー	大澤俊彦	
25. 光センシングによる簡便な生体内抗酸化システムの開発	学会発表	2017年8月	日本食品科学工学会第64回大会, 藤沢	數村公子, 竹内康造, 土屋広司, 美和登志幸, 波多野薫子, 服部将貴, 森下直計, 大澤俊彦	
26. これからの研究開発動向	セミナー講演	2017年8月	日本食品機械研究会セミナー/カカオの生理機能とこれからの研究開発動向	大澤俊彦	

北川千加良

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 主観的食事量を行動目標とした栄養教育方法に関する検討	共著	2016年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 第12号	酒井映子, 末田香里, 森岡亜有, 北川千加良, 佐藤祐造	pp.63-73

2. 園児の食育行動目標としての箸使いに関連する要因	共著	2017年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要 心身科学第9巻第1号	北川千加良, 渡邊智之, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	pp.9-17
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 子ども大学にっしん	講座	2016年11月	日進市生涯学習課「健康料理講座」, 愛知学院大学, 日進	北川千加良	
2. Loveキッチン Cafe	講座	2017年7月	コープあいち, 愛知学院大学, 農林水産省東海農政局, コープあいち 生協生活文化会館, 名古屋	酒井映子, 北川千加良	
3. 子ども大学にっしん	講座	2017年7月	日進市生涯学習課「健康料理講座」, 愛知学院大学, 日進	北川千加良	
4. 野菜摂取に関する消費者行動の要因分析	学会発表	2017年9月	第64回日本栄養改善学会, 徳島	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜有, 末田香里	
5. 園児の食育推進に影響を及ぼす保護者の箸使いと家庭環境	学会発表	2017年9月	第64回日本栄養改善学会, 徳島	北川千加良, 渡邊智之, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	

酒井映子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. エビデンスに基づく運動療法	共著	2016年10月	公衆衛生 第80巻第10号	佐藤祐造, 酒井映子	pp.749-754
2. 月経周期が米飯摂取後の食後血糖値に及ぼす影響	共著	2016年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 第12号	末田香里, 服部紗紀, 水野祐奈, 矢野瑞帆, 酒井映子	pp.11-16
3. 肥満傾向児の身体状況の経年変化と生活習慣との関連	共著	2016年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 第12号	水野達也, 末田香里, 酒井映子	pp.37-46
4. 主観的食事量を行動目標とした栄養教育方法に関する検討	共著	2016年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 第12号	酒井映子, 末田香里, 森岡亜有, 北川千加良, 佐藤祐造	pp.63-73
5. 千切大根の米飯摂取後の血糖上昇抑制効果～千切大根生・煮食の比較と食べる順番の検討～	共著	2017年3月	心身科学研究所紀要 心身科学 第9巻第1号	末田香里, 浅野 藍, 加藤幸巳, 門脇夏美, 佐藤祥子, 長谷川里沙, 酒井映子	pp.1-7
6. 園児の食育行動目標としての箸使いに関連する要因	共著	2017年3月	心身科学研究所紀要 心身科学 第9巻第1号	北川千加良, 渡邊智之, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	pp.9-17
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 月経周期が及ぼす食後血糖変動について	学会	2017年1月	第20回日本病態栄養学会, 京都	末田香里, 服部紗紀, 水野祐奈, 矢野瑞穂, 横井志帆, 酒井映子	
2. 生活習慣および食事状況からみた炭水化物摂取の適正量の検討	学会	2017年1月	第20回日本病態栄養学会, 横浜	酒井映子, 末田香里, 佐藤祐造	
3. 分野別(栄養学・薬学・看護学)アクティブ・ラーニング対話集会「健康維持・増進とケアを分野連携で多面的に考える授業の提案 -栄養学分野-」	講演会	2017年1月	公益社団法人私立大学情報教育協会, 栄養学教育FD/ICT活用研究委員会, 帝京平成大学, 東京	酒井映子	

4. 高浜市第7回こども食育発表会 ワークショップ「いただきます～笑顔の食卓～」	コーディネート	2017年2月	高浜市こども食育推進協議会, 高浜市立高浜小学校, 高浜	酒井映子	
5. 日進大学連携講座 野菜と健康～野菜を毎日どのくらい食べていますか～	講義	2017年3月	日進市役所, 日進	酒井映子	
6. 平成29年度コープあいち虹の会 春の研修会 食育～食生活の現状と改善に向けて～	講演会	2017年4月	コープあいち虹の会, 刈谷産業振興センター, 刈谷	酒井映子	
7. 平成29年度 愛知県学校給食献立コンクール	審査委員長	2017年7月	愛知県教育委員会, (公)愛知県学校給食会, ウィルあいち, 名古屋	酒井映子	
8. 野菜摂取に関する消費者行動の要因分析	学会	2017年9月	第64回日本栄養改善学会, 徳島	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜有, 末田香里	
9. 園児の食育推進に影響を及ぼす保護者の箸使いと家庭環境	学会	2017年9月	第64回日本栄養改善学会, 徳島	北川千加良, 渡邊智之, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	
10. 食形態の違いによる食後血糖値の変動－個体・ゼリー・液体の3形態で検討－	学会	2017年9月	第64回日本栄養改善学会, 徳島	末田香里, 酒井映子	

坂本祥子

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 自然免疫応答を用いた新規食品機能性評価法による柑橘類等フラボノイドの機能性	学会発表	2017年2月	日本酸化ストレス学会 東海支部第5回学術集会, 名古屋	望月美佳, 山田洋美, 数村公子, 土屋広司, 森下直計, 坂本祥子, 大澤俊彦	

末田香里

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 月経周期が米飯摂取後の食後血糖に及ぼす影響	共著	2016年12月	愛知学院大学心身科学部紀要第12号	末田香里, 服部沙紀, 水野祐奈, 矢野瑞帆, 横井志帆, 酒井映子	pp.11-16
2. 切り干し大根の米飯摂取後の血糖上昇抑制効果－切り干し大根生・煮食の比較と食べる順番の検討－	共著	2017年3月	心身科学 第9巻第1号	末田香里, 浅井 藍, 加藤幸巳, 門脇夏美, 砂糖祥子, 長谷川里沙, 酒井映子	pp. 1-8

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 月経周期が及ぼす食後血糖変動について	学会発表ポスター	2017年1月	第20回日本病態栄養学会年次学術集会, 京都	末田香里, 服部沙紀, 水野祐奈, 横井志帆, 酒井映子	
2. 生活習慣および食事状況からみた炭水化物摂取の適正量の検討	学会発表ポスター	2017年1月	第20回日本病態栄養学会年次学術集会, 京都	酒井映子, 末田香里, 佐藤祐造	
3. 園児の食教推進に影響を及ぼす保護者の箸使いと家庭環境	学会発表口頭	2017年9月	第64回日本栄養改善学会学術総会, 徳島	北川千加良, 渡邊智之, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	
4. 野菜摂取に関する消費者行動の要因分析	学会発表ポスター	2017年9月	第64回日本栄養改善学会学術総会, 徳島	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜有, 末田香里	

5. 食形態の違いによる食後血糖値の変動 - 固形・ゼリー・液体の3形態で検討 -	学会 発表 ポス ター	2017年 9 月	第64回日本栄養改善学 会学術総会, 徳島	末田香里, 酒井映子	
--	----------------------	-----------	--------------------------	------------	--

丸山和佳子

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Characteristics of melanin and neuromelanin: Similarity and dissimilarity	共著	2017年 4 月	e-book	Naoi M, <u>Maruyama W</u> , Shamoto - Nagai M.	
2. Bioactive dietary compounds regulate mitochondrial apoptosis signaling in ambivalent way to functions neuroprotective or antitumor agents.	共著	2016年12月	Volume 51, Bioactive Natural Products	Naoi M, Yuqiu W, Shamoto - Nagai M, <u>Maruyama W</u>	pp.202 - 222
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Type B and A monoamine oxidase and their inhibitors regulate the gene expression of Bcl-2 and neurotrophic factors in human glioblastoma U118MG cells: different signal pathways for neuroprotection by selegiline and rasagiline.	共著	2017年 6 月	J Neural Transm	Inaba - Hasegawa K, Shamoto - Nagai M, <u>Maruyama W</u> , Naoi M.	2017 Jun 2. doi: 10.1007/ s00702-017- 1740-9. [Epub ahead of print]
2. Phytochemicals prevent mitochondrial membrane permeabilization and protect SH-SY 5 Y cells against apoptosis induced by PK11195, a ligand for outer membrane translocator protein.	共著	2017年 1 月	J Neural Transm 124 (1)	Wu Y, Shamoto - Nagai M, <u>Maruyama W</u> , Osawa T, Naoi M	pp.89 - 98
3. Type A monoamine oxidase and serotonin are coordinately involved in depressive disorders: from neurotransmitter imbalance to impaired neurogenesis. REVIEW	共著	2017年 3 月	J Neural Transm	Naoi M, <u>Maruyama W</u> , Shamoto - Nagai M.	2017 Mar 14.doi: 10.1007/ s00702-017- 1709-8. [Epub ahead of print]
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. シニアのこころとからだを健康に保つ には～認知症の原因と予防～	市民 公開 講座	2016年11月	なごや健康カレッジ 名古屋	丸山和佳子	
2. 食品由来成分による脳老化抑制は可能か	市民 公開 講座	2016年11月	兵庫県立大学 食未来 エクステンション講座 姫路	丸山和佳子	
3. 長寿社会における栄養と健康を考える - 認知症を防ぐ生活習慣とは? -	市民 公開 講座	2017年 6 月	2017年度愛知学院大学 公開講座	丸山和佳子	
4. 植物栄養素(phytochemicals)による神経細胞保護の機序	ポス ター 発表	2017年 6 月	第69回日本ビタミン学 会	永井雅代, <u>丸山和佳子</u> , 直井 信	
5. ビタミン・バイオフィクターでアンチエイジング 神経老化に対する栄養学的介入の現状と未来	シン ポジ ウム	2017年 6 月	第69回日本ビタミン学 会	丸山和佳子	
6. 要介護状態と認知機能が口腔機能に及ぼす影響について	ポス ター 発表	2017年 6 月	老年歯科学会	西口寛一朗, 小島規永, 永井雅代, <u>丸山和佳子</u> , 武部 純	

7. Docosahexaenoic acid (DHA)-dependent lipid peroxidation increases α -synuclein aggregation and accumulation via inhibition of autophagy system in neuronal cells	ポスター発表	2017年9月	神経化学大会	Shamoto - Nagai M, Maruyama W, Naoi M.	
--	--------	---------	--------	--	--

望月美佳

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
自然免疫応答を用いた新規食品機能性評価法による柑橘類等フラボノイドの機能性	学会発表	2017年2月	日本酸化ストレス学会 東海支部 第5回学術集会	望月美佳, 山田洋美, 数村公子, 土屋広司, 森下直計, 坂本祥子, 大澤俊彦	
熊野産カンキツ「新姫」に含まれる芳香族化合物の機能性評価	学会発表	2017年8月	公益社団法人 日本食品科学工学会 第64回大会	三宅義明, 望月美佳, 井藤千裕, 数村公子, 糸魚川政孝	

森 圭子

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 豊山町「食育ひろば」	乳幼児食育指導	2016年10月	豊山町保健センター	森 圭子, 公衆栄養学 ゼミナール学生3年の 11名	
2. 平成28年度 なごや健康カレッジ「こころとからだの健康づくり - こころとからだを整える6つの知恵」	コーディネート	2016年10月 ~12月	愛知学院大学 名城キャンパス アガルスタワー 4F 2402教室	森 圭子	
3. 模擬授業「骨を元気にする食事」	模擬授業	2016年11月	静岡県立浜松湖東高等学校	森 圭子	
4. 平成28年度第3回名古屋市介護予防・認知症予防プログラム事業者研修会	講師 [栄養]	2016年12月	名古屋市総合福祉会館(名古屋市)	森 圭子	
5. 平成28年度名古屋市介護予防・認知症予防プログラム事業評価委員会	会議	2017年1月	名古屋市総合福祉会館(名古屋市)	森 圭子	
6. 平成28年度第4回名古屋市介護予防・認知症予防プログラム事業者研修会	講師 [栄養]	2017年2月	名古屋市総合福祉会館(名古屋市)	森 圭子	
7. 平成28年度第4回愛知県女性薬剤師会学術講演会「葉酸から考える 健康な食生活」	講師	2017年3月	名城大学新1号館7階 ライフサイエンスホール(名古屋市)	森 圭子	
8. 産地収益力向上支援事業瀬戸市道の駅瀬戸しなのメニュー開発委員会(瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会)	会議 (座長)	2017年3月	瀬戸市道の駅瀬戸しなの	森 圭子	
9. 平成29年度第1回名古屋市介護予防・認知症予防プログラム事業者研修会	講師 [栄養]	2017年5月	名古屋市総合福祉会館(名古屋市)	森 圭子	
10. 東海農政局における農山振興施策に関する選定審査委員会・評価委員会	会議 および 合同視察、 委員	2017年7月	東海農政局(名古屋市), 現地調査(下呂市, 高山市, 郡上市)	森 圭子	
11. オープンキャンパス模擬授業「A町における幼児を持つ母親向け食育の例」	模擬授業	2017年8月	愛知学院大学 日進キャンパス 14号館 14202教室	森 圭子	

12. 東海農政局と愛知学院大学連携事業「災害用備蓄食品を活用した簡単レシピ講習会」開催	司会・講師	2017年 8 月	愛知学院大学 日進キャンパス 14号館 BF 1407教室 CBC テレビ「イッポウ」にて放送 毎日新聞掲載	森 圭子, 公衆栄養学ゼミナール学生 4年3年の14名	
13. 大学生における食の実態・食育体験とレジリエンスに関する研究	学会発表 (口頭発表)	2017年 9 月	日本栄養改善学会(徳島市)	森 圭子	

渡邊智之

A (著 書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
認知症ケア用語辞典	共著	2016年11月	ワールドプランニング	一般財団法人日本認知症ケア学会 編	pp.340 - 344
エビデンスにもとづく 公衆衛生学 WEB 連動テキスト	共著	2017年 6 月	培風館	城 憲秀, 宮下和久, 武田眞太郎, 編著. 有田幹雄, 滝川和郎, 鈴木貞夫, 細野晃弘, 渡邊智之, 近藤浩代, 武山英麿, 加藤一夫	pp.70 - 82, 123 - 126, 146 - 162
B (論 文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
園児の食育行動目標としての箸使いに関連する要因	共著	2017年 3 月	愛知学院大学心身科学 研究所紀要, 9(1)	北川千加良, 渡邊智之, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	pp. 9 - 17
Clinical Features and Prognosis According to Immunophenotypic Subtypes Including the Early T-Cell Precursor Subtype of T-Lymphoblastic Lymphoma in the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group ALB-NHL03 Study	共著	2017年 5 月	Journal of Pediatric Hematology/ Oncology	R Fukano, S Sunami, M Sekimizu, T Takimoto, T Mori, T Mitsui, T Mori, AM Saito, T Watanabe, K Ohshima, J Fujimoto, A Nakazawa, N Kiyokawa, R Kobayashi, K Horibe, M Tsurusawa	doi: 10.1097/ MPH.000000 0000000850

Phase II study of intensified rituximab induction and maintenance for low grade B cell lymphoma	共著	2017年7月	Leukemia & Lymphoma, 58(12)	H Nagai, T Shimomura, M Takeuchi, S Hanada, T Komeno, K Sunami, M Hidaka, T Yano, K Kitano, I Yoshida, N Inoue, A Saito, K Horibe, S Motitani, S Ichihara, T Watanabe, M Sawamura	pp.2845 - 2851
男子高校生が取り組むピア・サポート・プログラムが学校環境対応感に及ぼす影響	共著	2017年9月	東海学校保健研究, 41(1)	近藤充代, 渡邊智之, 大澤 功	pp.31 - 42
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
認知症高齢者の自動車運転の現状と特性について	講演会	2016年12月	愛知県老人保健施設協会会合, メルパルク名古屋	渡邊智之	
認知症高齢者の自動車運転について	講演会 (基調講演)	2017年1月	「高齢者の自動車運転を考える」シンポジウム, 名古屋市南区役所講堂	渡邊智之	
園児の食育推進に影響を及ぼす保護者の著使いと家庭環境	学会発表	2017年9月	第64回日本栄養改善学会学術総会, 徳島	北川千加良, 渡邊智之, 森岡亜夕有, 末田香里, 酒井映子	